

■ 各大学の理念、特色を生かして教育・研究、地域貢献、国際学术交流等を推進 ■

## 法政大学・明治大学と連携協力協定を締結

～ 国内留学、ポアソナード関連イベント、合同海外インターンシップ等の実施を目指して ～

このたび法政大学・明治大学・関西大学（以下「3大学」）は、より活発な相互交流を推進するため、幅広く連携を強化していくことで合意に達し、9月25日に関西大学東京センターにて連携協力協定を締結しました。

3大学は、いずれも「日本近代法の父」と呼ばれるポアソナード博士に薫陶を受けた若き法曹家たちが中心となって1880年代に法律学校として設立されました。本協定は、3大学の理念、特色を生かした大学間連携活動を通じて、相互の教育・研究の一層の進展を目指し、産学連携や地域社会への貢献活動、国際学术交流その他の諸活動を積極的に推進することにより、優れた人材の育成と真理の探求という大学本来の使命を実現し、地域社会ひいては国際社会の発展に寄与することを目的としています。



協定締結時の様子

（左：明治大学 土屋恵一郎 学長、  
中：法政大学 田中優子 総長、  
右：関西大学 芝井敬司 学長）

（関西大学 芝井 敬司 学長 挨拶コメント）

この3大学は創設の経緯や現在の地位・規模など多くの共通点を有していることから、様々な課題の解決のために本学から今回の連携を提案し、賛同いただいた。多くの共通課題に対し、情報交換や共同の取組みを推進していくことは、3大学のみならず日本の高等教育全体にとっても大きな意義があると考えている。

（法政大学 田中 優子 総長 挨拶コメント）

3大学は、新しい時代を支え、人びとの権利と自由、そして市民社会を実現するための法律を学ぶために創設された。ポアソナードは日本に何を伝え、設立された大学は何を目指したのかなど、明治維新150年を迎える2018年に、ポアソナード博士に関連するイベントを3大学が連携してぜひ実現したい。

（明治大学 土屋 恵一郎 学長 挨拶コメント）

新しい教育のイノベーションの時代を迎えているときに、3大学が連携して「移動」と「自由」における教育の改革を模索することは非常に面白い。将来における日本の大学の姿というものを新しく創出するきっかけになると考えている。

今後は、国内留学・単位互換制度や合同海外インターンシップ、スポーツ・文化・ボランティアを通じた学生交流のほか、ポアソナード博士に関連するイベント等の共催、入試広報や職員研修の合同実施など、3大学が連携して教育研究活動の一層の充実と質の向上を図り、学術の発展と有為な人材の育成に寄与していきます。

以上

【添付書類】法政大学・明治大学・関西大学 連携協力協定 趣意書  
法政大学・明治大学・関西大学による連携事業の予定

※写真をご入用の方は、お手数ですが [kouhou@ml.kandai.jp](mailto:kouhou@ml.kandai.jp) 宛にご請求ください。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

[www.kansai-u.ac.jp](http://www.kansai-u.ac.jp)

## 法政大学・明治大学・関西大学 連携協力協定 趣意書

法 政 大 学  
明 治 大 学  
関 西 大 学

法政大学、明治大学、関西大学は、このたび、より活発な相互交流を推進するため、幅広く連携を強化していくことについて合意いたしました。

法政大学、明治大学、関西大学は、東京と大阪という我が国の都市部に位置する私立の総合大学として、いずれも 1880 年代に設立されました。3 大学のルーツは、我が国の近代化の羅針盤となるための法学教育にあり、とりわけ日本近代法の父と呼ばれたボアソナード博士がそれぞれの設立時に強い影響を与えていることなど、130 年以上も昔の歴史のなかに共通点を見出すことができます。以来、3 大学それぞれが社会の変化に先んじて学びの分野を拡大、多くの卒業生を輩出し現在に至っています。

法政大学は、自由民権運動のさなか、在野の法律家であった金丸鉄、伊藤修、薩埵正邦らによって、1880 年に設立された東京法学社を前身とします。1883 年には創立者らの強い要請に応じてボアソナード博士が教頭に就任、設立初期の約 10 年間を無償で出講されました。現在は市ヶ谷、多摩、小金井に 3 つのキャンパスを有し、137 年の歴史のなかで卒業生は約 46 万人にのぼります。15 学部、15 研究科、2 専門職大学院に合計約 3 万人の学生と 3 つの付属校（2 中学・3 高校）を擁する関東屈指の総合大学です。現在は創設時から育まれる学風、「自由と進歩」を大学憲章「自由を生き抜く実践知」と表現し、在学生・卒業生が、現場に根を張り、社会の課題解決に携わりながら、自立した市民に育つことを、めざしています。

明治大学は、封建的な社会から近代社会へと変容する時代に、個人の権利を確立し、自由な社会を実現するために、司法省法学校でボアソナード博士からフランス法学を学んだ岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操により、フランス法学を教授する明治法律学校として、1881（明治 14）年に創立されました。10 学部および 16 研究科、そして付属高等学校・中学校を設置し、3 万 4 千人を超える学生が学ぶ、日本有数の総合大学となった現在でも、創立時からの伝統によって確立された建学の精神「権利自由、独立自治」に基づき、自由と自治の精神を養うことを明治大学の理念としています。「個」の確立を基礎とした教育方針は、「個を強くする大学」という理念へと継承されています。

関西大学は、明治政府から招聘されたボアソナード博士の教えを受けた井上操、小倉久、堀田正忠らの司法官と、自由民権運動家の吉田一士らの連携によって、1886 年に設立された関西法律学校を前身とします。現在は大阪府内に 4 つのキャンパスを有し、131 年の歴史のなかで卒業生は約 44 万人にのぼります。13 学部、13 研究科、3 専門職大学院、留学生別科に合計 3 万人を超える学生と、8 つの併設校（高中小）を擁する関西屈指の総合大学です。「正義を権力より護れ」の精神の下、学是である「学の実化（じつげ）」（学理と実際の調和）を今日に受け継いでいます。社会の中で困難を克服することのできる「考動力」と、新たな価値を創造し、多様性を生み出すことのできる「革新力」を備えた人材の育成を目指しています。

3 大学は、それぞれの大学の理念、特色を活かした大学間連携活動を通じて、相互の教育・研究の一層の進展をめざし、産学連携や地域社会への貢献活動、国際学術交流その他の諸活動を積極的に推進することにより、優れた人材の育成と真理の探究という大学本来の使命を実現し、地域社会ひいては国際社会の発展に寄与することを目的に、ここに包括連携協定を締結するものです。

2017 年 9 月 25 日

## 法政大学・明治大学・関西大学による連携事業の予定 (既に実施中のものや協議・検討中のものを含む)

事業名	内容
国内留学・単位互換制度	他大学の科目を履修し、修得した単位を所属大学の単位として認定するという制度で、大学間において国内留学もしくは単位互換協定を締結して、学生の交流を行う。
「ボアソナード関連イベント」の開催	3大学とも1880年代にボアソナードの薫陶を受けた教え子たちが創立した学校を前身としていることから、ボアソナードの事績と、その意志を継いで法学普及につとめた教え子たち、そして3大学の活動を、「明治維新150年」にあたる2018年から振り返り、世界史的な観点からその意味を問い直す機会とする。 講演会の開催や、3大学巡回企画展示会(ボアソナードの事績/教育/育まれた人材/3大学紹介等)
UNHCR難民高等教育プログラム特別入学試験の導入	相互理解及び相互協力に基づき、難民に対し、高等教育の機会を提供することにより、国際社会において平和の構築や社会の発展に寄与する人材を育成することを目的として、「UNHCR難民高等教育プログラム特別入学試験」を展開することでダイバーシティを推進する。既に導入済みの明治大学からのよびかけにより各大学にて導入を検討している。
専任職員階層別(3年目)合同研修	社会のあらゆる分野で急速な変化が進行する中で、所属大学のミッションを具体化する施策を戦略的に立案・実践する力を養うため、3大学合同で事務職員の研修(SD)を実施する。
3大学合同海外インターンシップ	関西大学が実施している海外インターンシッププログラム「グローバル企業体感プログラムin上海」を複数の大学合同で実施することで学生の視野をさらに広げ、切磋琢磨できる環境を充実させる。
入試広報の合同実施	オープンキャンパスでの各大学案内、相談コーナーの設置をはじめ、海外・国内での合同入試説明会を実施し、将来的には3大学体験留学+都市観光パッケージツアーの開催を検討する。
3大学ボランティアセンターにおける連携・合同プログラム	それぞれの大学で展開しているピア・コミュニティ(ボランティア、留学生支援、図書館等)が連携して活動する。
3大学音楽系学生団体による(チャリティ)コンサート	3大学の音楽系学生団体(例、交響楽団等)が合同で(チャリティ)コンサート等を開催する。
体育会スポーツの3大学交流戦	各クラブで展開している定期戦を3大学の枠組みで実施し、一層応援を盛り上げるとともに愛校心を深める。
図書館の相互利用	相互に利用できる環境を整備し、利用者へのサービス向上を図る。
「かんだい明日香まほろば講座」の共催	明日香村との連携事業として毎年東京で3回実施(朝日新聞社後援)している講座を3大学が協力して実施する。
UNHCR難民映画祭への協力	UNHCRが主催している映画祭に他大学と協力し、映画を上映し、UNHCR難民への理解を呼びかける。 具体的には、会場提供、教員によるコーディネート(上映作品の説明等)、HPによるPR等を行う。 他大学の実施状況 青山学院、北海道大学、ICU、関西学院、立教大学、上智大学、東京外国語大学、早稲田大学等
夏季集中連携プログラム	8～9月の夏季休業期間中に3大学連携プログラム(3泊4日の集中授業)を実施し、各大学において教養科目などで単位認定を行う。